

SciREX (政策のための科学) シンポジウム
「イノベーション創出を支える博士人材の育成」
～博士人材データベースの活用と促進に向けて～

グローバルに活躍する博士の養成

平成26年6月2日

文部科学省高等教育局
大学振興課長 里見 朋香

グローバル化社会の大学院教育

(平成23年1月 中央教育審議会答申)

グローバル化や知識基盤社会が進展する中、大学院教育の強化は一刻の猶予も許されない課題
「17年大学院答申」で掲げた大学院教育の実質化の一層の強化を基本に、

- ① 産学官が協力し国内外の多様な社会の要請に的確に応える開かれた体系的な教育の展開
- ② 社会人や外国人学生を含む多様な学生が将来の見通しを持って切磋琢磨する環境の整備に力点を置き、以下の柱に基づき大学院教育を強化することが必要

1. 学位プログラムとしての大学院教育の確立

学位プログラムとして、修得すべき知識・能力を明確にした教育を通じて、学生の質を保証

教育情報の公表による大学院教育の「可視化」

コースワークから研究指導に有機的に繋がる体系的教育

優れた学生が大学院で学ぶ環境の整備(経済的支援)

学生の質を保証する組織的な教育・研究指導体制

産業界等との連携の強化と多様なキャリアパスの確立

2. グローバルに活躍する博士の養成

課程を通じ一貫した博士課程教育を確立し、グローバルに活躍する高度な人材を養成

独創的な研究活動を自立して遂行できる一貫した博士課程教育

成長を牽引する世界的な大学院教育拠点(リーディング大学院)

日本人・外国人学生の垣根を越えた協働教育の推進

第2次大学院教育振興施策要綱

平成23年8月5日
文部科学大臣決定

中教審答申を踏まえ、文部科学省として早急に取り組むべき重点施策を明示し、体系的かつ集中的に施策を展開することを目的とし、「第2次大学院教育振興施策要綱」(対象期間:平成23～27年度)を策定

◆基本的な視点

グローバル化や知識基盤社会の更なる進展, 震災からの復興・再生, 新たな社会の創造・成長等を見据え, 大学院教育の実質化に向けた取組を強化することを基本に, 国内外の多様な社会への発信と対話, 大学院修了者の活躍の視点を重視し, 大学院教育の質の保証・向上のための施策を実施する。

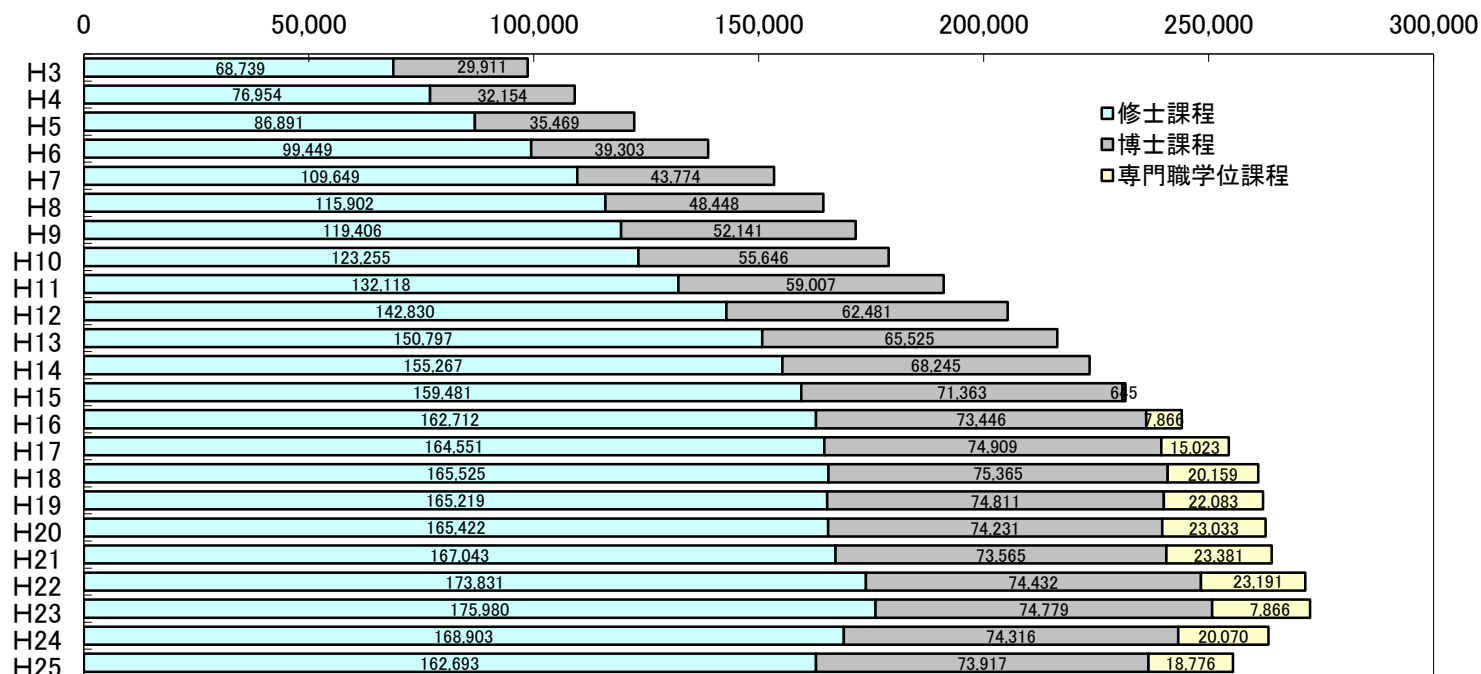
◆具体的な施策

1. 学位プログラムに基づく大学院教育の確立
2. 新たな社会の創造・成長を牽引する博士の養成
3. 社会との対話と連携による教育の充実と, 学生が将来への見通しを持てる環境の構築
4. 大学院教育のグローバル化の促進
5. 専門職大学院の質の向上

我が国における大学院在学者数の推移

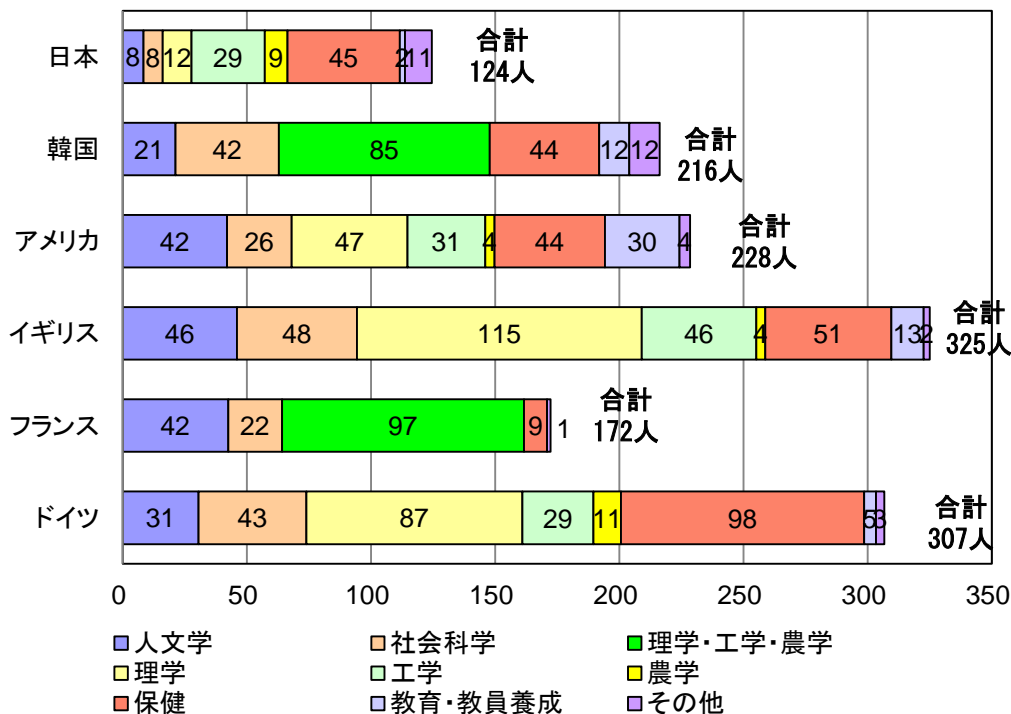
(平成3年) 大学院在学者数 98,650人 $\xrightarrow{2.6倍}$ (平成25年) 255,386人

(平成3年) 博士課程在学者数 29,911人 $\xrightarrow{2.5倍}$ (平成25年) 73,917人



博士号取得者数等に関する国際比較

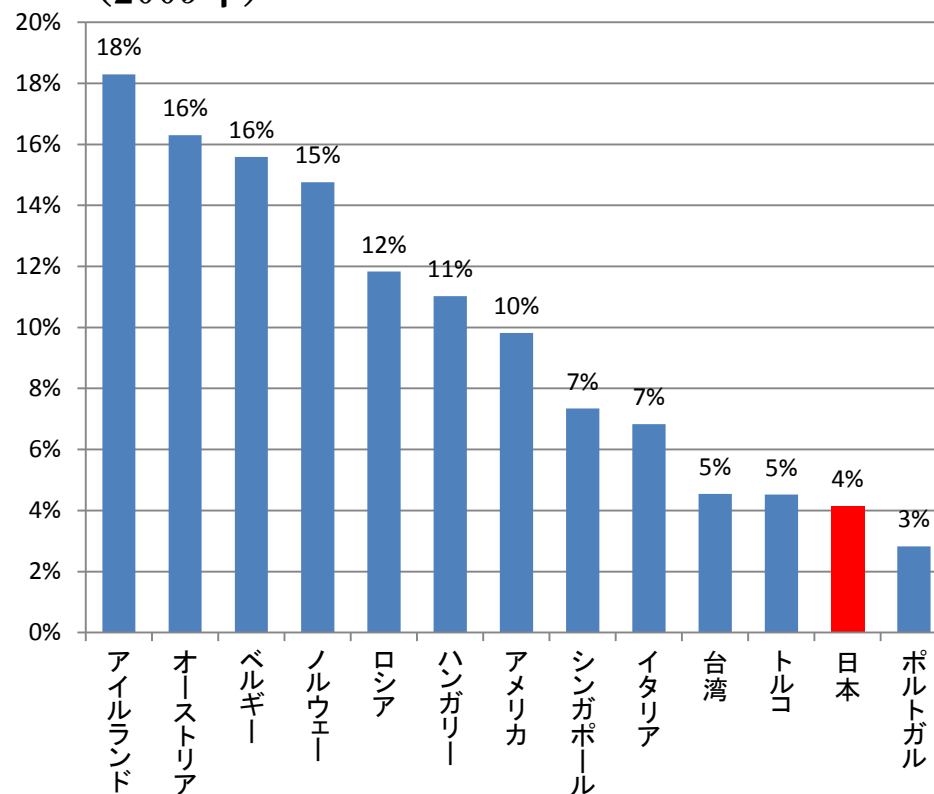
主要国における人口100万人当たりの専攻分野別博士号取得者(2009年)



※イギリス: 大学及び高等教育カレッジの上級学位取得者数。
 ※イギリスについては、2010年の数値。

(教育指標の国際比較 平成24, 25年版)

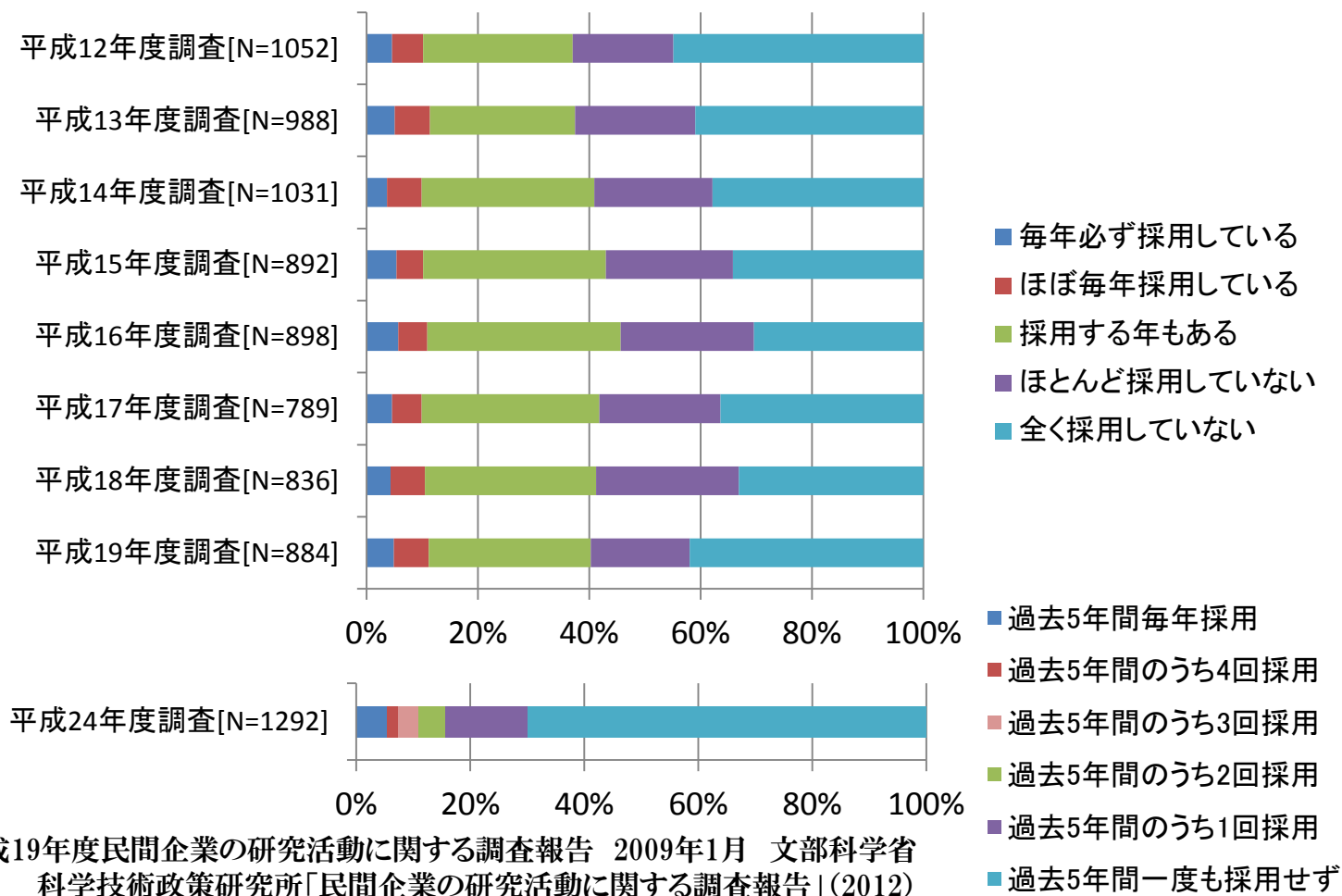
企業の研究者に占める博士号取得者の割合(2009年)



(出典) 日本: 科学技術研究調査、アメリカ: NSF, SESTAT、その他の国: OECD Science, Technology and R&D Statisticsのデータ より作成

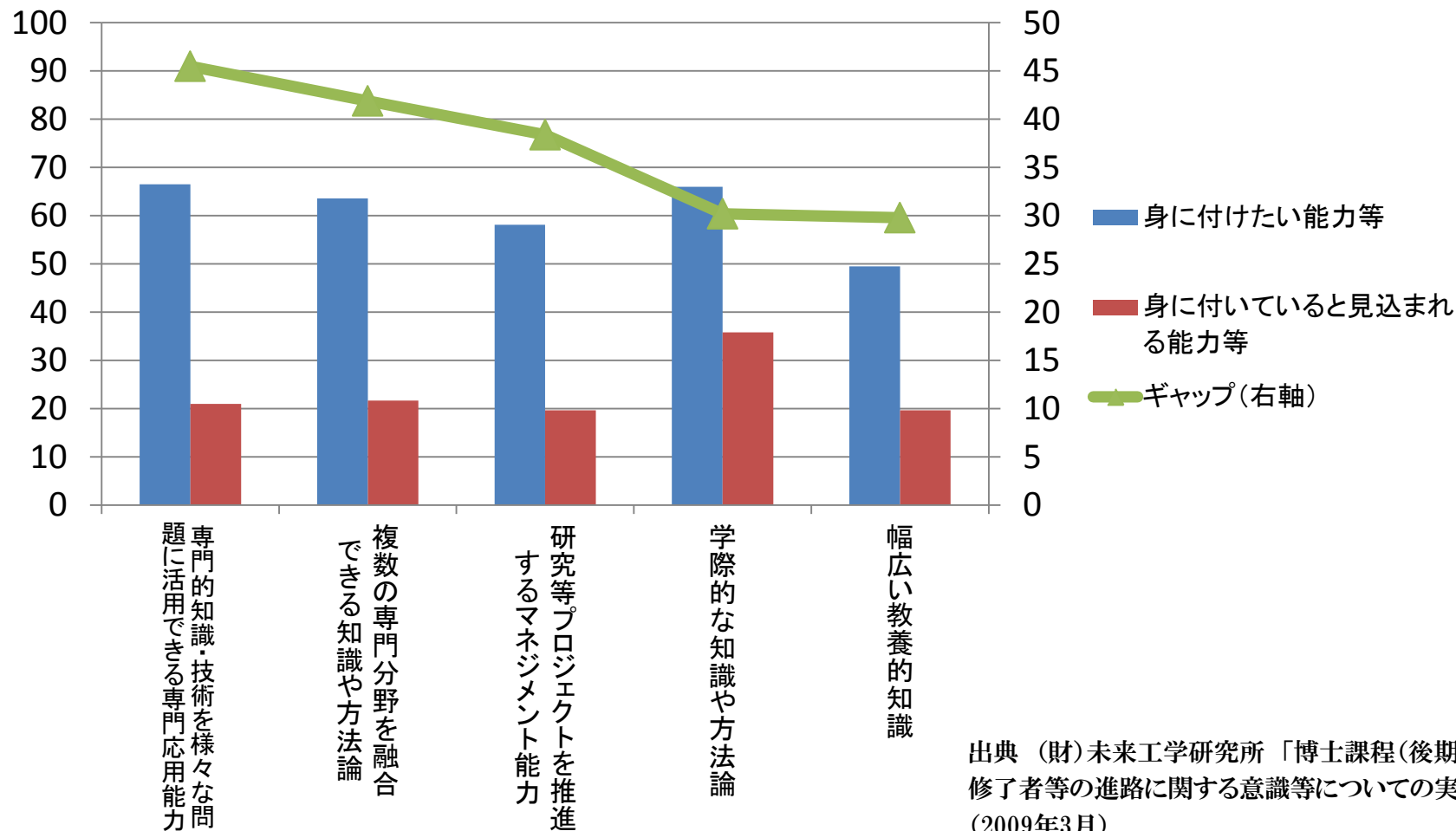
※アメリカは2008年のデータ

民間企業における博士課程修了者の採用実績



出典：平成19年度民間企業の研究活動に関する調査報告 2009年1月 文部科学省
 科学技術政策研究所「民間企業の研究活動に関する調査報告」(2012)

博士課程で身に付けたい能力と 身に付いていると見込まれる能力

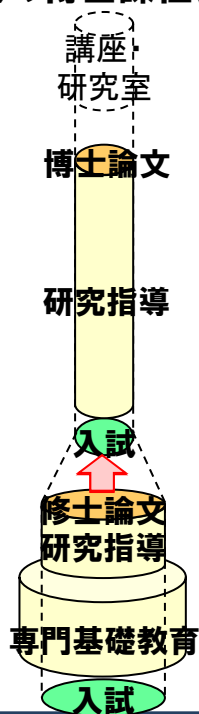


文部科学省「博士課程教育リーディングプログラム」事業が目指す大学院教育

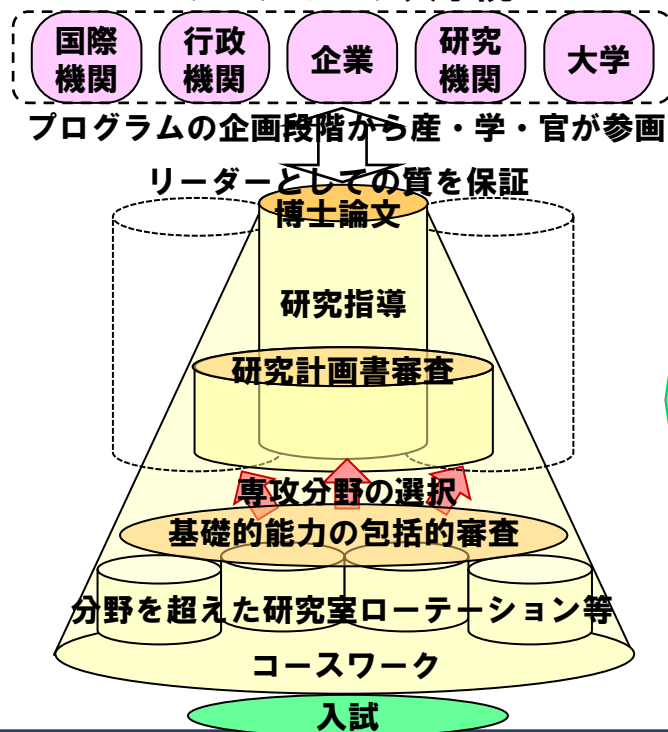
- ・アカデミアの研究者養成を主目的とし、研究指導が個々の研究室中心
- ・卒研，入試，修論等で早期に研究テーマが特定
- ・専門分野の細分化が進行

専門分野の枠を超えた博士課程前期・後期一貫したプログラムで、俯瞰力と独創力を備え、広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーを養成する最高学府に相応しい大学院を形成

従来の博士課程教育



リーディング大学院



産・学・官の参画による国際性・実践性を備えた現場での研究訓練

国内外の多様なセクターから第一級の教員を結集した密接な指導体制

優秀な学生が切磋琢磨しながら、主体的・独創的に研究を実践

専門の枠を超え、知の基盤を形成する体系的教育と包括的な能力評価

博士課程教育リーディングプログラムの採択状況

- ◆ 平成26年度予算額:185億円
(平成25年度予算額:178億円)
- ◆ 補助期間:最大7年間

